

経営比較分析表（平成29年度決算）

北海道 上ノ国町

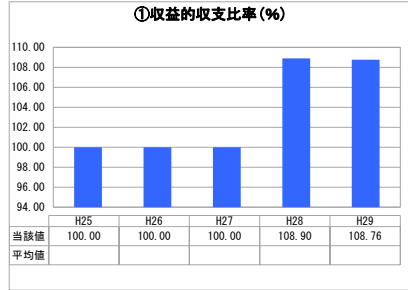
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	1.64	100.00	5,340

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,988	547.71	9.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
81	0.32	253.13

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



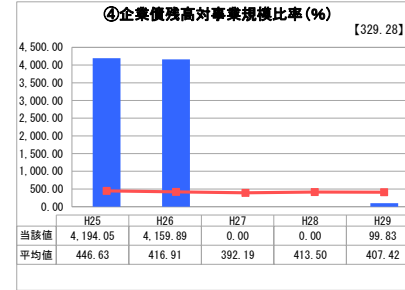
「単年度の収支」



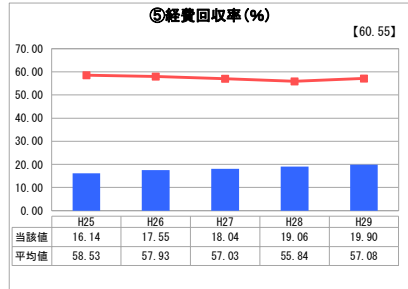
「累積欠損」



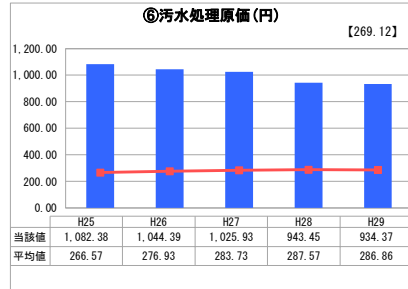
「支払能力」



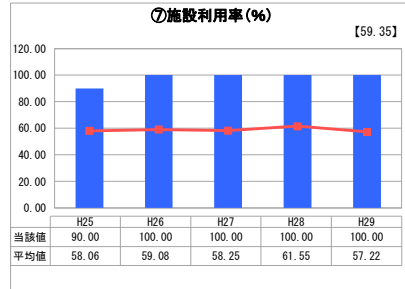
「債務残高」



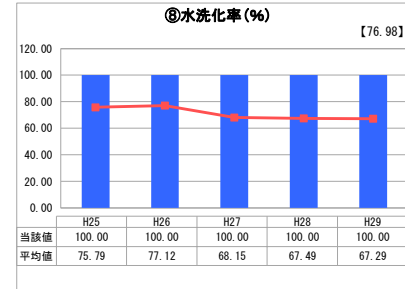
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

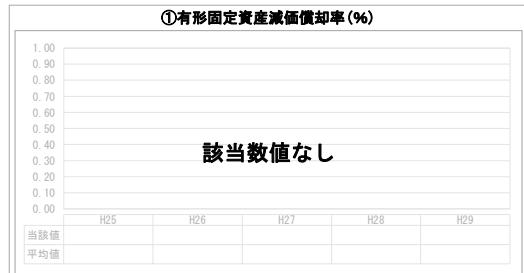


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

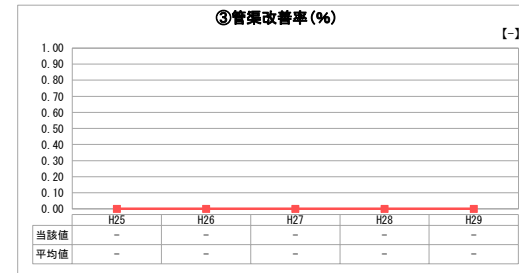
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

施設の設置経費の低減及び維持管理費の削減を図り、経営の安定化に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

事業開始年度が直近のため、現在は老朽化対策を講じる必要がない。

全体総括

今後の老朽化対策に対応出来るよう経営の改善を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。